

京都部部報

創刊号/2020-2021年度版 BULLETIN



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区



JAPAN WEST

京都部部長主題

「人生は一度きり」～出会いから全てが始まる～

京都部部長

中村隆司 (京都ウェル)

西日本区理事主題

「“Let's do it now!”」

副題

「2022に向け誇りを持って “All is well”」

西日本区理事

古田裕和 (京都トゥービー)

国際会長主題
スローガン

“VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP”

「価値観、エクステンション、リーダーシップ」

“TRUST IN THE RIVER OF LIFE.” 「命の川を信じよう」

国際会長 (IP)

Jacob Kristensen (デンマーク)

アジア太平洋国際地域会長
主題: スローガン

“Make A Difference” 「変化をもたらそう」

“INSPIRE” 「奮い立たせよう」

アジア太平洋地域会長 (AP)

David Lua (シンガポール)

楽しくなければワイズじゃない！

京都部部長 中村 隆司 (京都ウェルワイズメンズクラブ)

京都部の皆様こんにちは！この部報が発行されるころ世界のコロナ情勢はどのようになっているのでしょうか？このようなコロナ禍のなか部長をさせて頂く事に運命を感じ、「あなたならこの惨禍の状況もきっと克服出来るから頑張きなさい」と神様が試練を与えて下さったと思い、ポジティブに一年間務めさせて頂こうと思っています。

主題は「人生は一度きり」～出会いから全てが始まる～、とさせて頂きました。

活動方針ですが、皆様、「ワイズの醍醐味は出会いから」とか、「ワイズの醍醐味は交流」と言うセリフを何度も耳にされていると思いますが、まさしく出会いから全てが始まり、無数の一期一会がワイズ旅の始まりとなるのではないのでしょうか。クラブの垣根を越えて、部、区、世界のワイズメンと出会い、交流をし、共に成長出来る場所、

出会えた仲間が最高と思える場所がワイズメンズクラブであると思います。これは私自身が入会以来ずっとこのように感じ、15年間思ってきたそのままでの気持ちです。そして何よりも楽しむ事が肝心です、人生は一度しかありません、ワイズを存分に楽しみましょう、「楽しくなければワイズじゃない」ですよ！私も沢山の方と出会い、おおいに楽しんでおります！

そして活動計画ですが、出会い、交流、楽しむの観点から、EMC、国際・交流に重点を置く事が必要不可欠だと考えますが、現状の社会情勢からはなかなか難しいかもしれません。しかし良い方策は必ずあるはずで、それを探しだし、ひとつずつ実践していかなければいけません。そして以前から危惧されている地球温暖化や海洋汚染等の環境問題も、もう待ったなしの所まで来ております。美しい地球を後世に残す為にSDGsを絡ませて積極的に取り組んで行きたいと考えます。この二点を柱とし、地域奉仕・環境、EMC、国際・交流の各事業に重点を置き、それらをアピールする為の広報事業の必要性も含め、計画を進めて行きたいと考えております。またYサに関しましては、従来通りYMCAの事業へのサポートは必要不可欠であります、コロナ禍の影響でいろいろと制限が出てきますが、各クラブの皆様には引き続きご協力をお願いさせて頂きたいと思っております。そしてメネット事業に関しましては、部としては事業は行わず、各クラブに委ねさせて頂く方向で考えておりますが、メネットのワイズへのご理解ご協力もやはりワイズ発展の為には必要不可欠であり、交流の必要性も含め大切に考えて行きたいと思っております。その事を常に意識し、一年間取り組んで行きたいと思っておりますので皆様どうぞ宜しくお願い申し上げます。



部役員

直前部長 島田 博司 京都ウエストワイズメンズクラブ



直前期は2月半ばより新型コロナウイルス感染拡大の影響により、京都部のそして各クラブの例会や事業にまで支障が出ましたが、前半期においてはメンバー皆さんの多大なるご協力もあり、なんとか1年間の部長職を終えることが出来ました。この場をお借りしてお礼申し上げます。我々は今までに経験したことのない状況下におかれています。皆さんはいろいろな制限・制約の中で、準備も十分にできなかったと不安や焦りを感じておられることでしょう。この先の見えない状態で、ワイズ活動においても新しい生活様式に順応に対応し、このような状況下においても社会から必要とされる奉仕団体として存続し続けるためにも、この1年は大変重要な期になると思います。少しでも中村部長、そして京都部の為にお役に立てるよう、直前部長として努めたいと思います。不安を感じた時にはどうぞ遠慮なく頼ってください。みんなで助け合い、この困難を乗り越えていきましょう。

統括連絡主事 藤尾 実 京都 YMCA



いよいよワイズメンズクラブ京都部中村部長期がスタートいたしました。ワイズメンズクラブ京都部全クラブが今期も、それぞれの場所で親睦、奉仕に力を尽くし、時には力を一つに合わせ、取り組むことにより、地域社会がよくなっていくことにつながると信じています。京都YMCAは2018年度からスタートした中期計画の最終年度として、(1)YMCAブランディングの推進に伴う事業の再構築、(2)次を担う人財の育成を2つの柱として活動をすすめます。また長期的に持続可能な次の時代の京都YMCAを作り上げるために、スタッフ・会員の力を結集して次の5か年計画を策定いたします。全国のYMCAとともにブランディングプロジェクトの推進につとめ、互いに認め合い、高め合う「ポジティブネット」のある社会をめざし、活動をすすめてまいります。以上の計画を立てていましたが、新型コロナウイルス感染症により多大な影響が出ています。ワイズメンズクラブのみなさんの事業におかれましても少なからず影響が出ていることと思います。この状況ではありますが、この状況だからこそ、YMCAとワイズメンズクラブが車の両輪の関係となり、地域社会の課題に取組みコロナ危機を共に乗り越えていきたいと思っています。この一年もどうぞよろしくお願いいたします。

監事 川上 孝司 京都パレスワイズメンズクラブ



今期、中村京都部部長の掲げられている方針は「楽しむことが一番」そして「環境問題」であります。今地球上の各地において私たちに襲い掛かっているコロナウィルスの問題は環境に大きくかかわることであります。ともに地震、津波の問題、台風豪雨、森林火災、干ばつといったこの地球大自然がもたらす環境の中で私たちは生かされている小さな命であることを感じます。だからこそ私たちはお互いに励ましあい、助け合い生きていかなくはなりません。そして笑顔をもって世界のワイズメンと共に奉仕の心をもって活動し、たのしむこと。そのことの大切さを感じます。今期中村部長を支え共に、楽しく京都部事業を取り組みたく思います。よろしくお願いいたします。



2020年3月8日(日) 次期会長・役員懇談会

部役員

書記 今村 隆宏 京都ウイングワイズメンズクラブ

この度、京都部書記を拝命致しました京都ウイングクラブの今村隆宏と申します。京都部としてのお役目は第16期、前登部長の時に国際交流事業主査をさせて頂いておりました。その時に感じた事はキャビネットのメンバーや各主査間のクラブを超えた関係性が、時が経つにつれて深まり、お互いを刺激し合い、そのチームワークこそが京都部としてのパワーになる。私の得意分野は1にも2にも”飲みにケーション”。もちろんお酒を召し上がれないメンバーともコミュニケーションは欠かしません。第25代中村隆司部長の主題『人生は一度きり』ワイズの醍醐味は交流と言われているように、全てはそこから始まると私も思います。新型コロナウイルスの影響で本当に大変な時代では有りますが、大切な時間を共有し各クラブ会長様をはじめ、京都部全ての皆様と共に一年間楽しみたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



書記 松田 博一 京都ウェルワイズメンズクラブ

今期、京都部書記を拝命いたしました、京都ウェルクラブの松田博一と申します。どうか1年間、よろしくお願い致します。まずは、今回のコロナウィルスの感染症拡大で、健康被害にあわれた皆様、経済的な被害にあわれた皆様に心よりお見舞申し上げます。さて、私は今回、中村部長とは同じクラブでもあり、また、一緒に三役をさせて頂きたく、今村書記や西村事務局長、そして私の親クラブに当たる京都プリンスクラブから参加されている蒔田会計と、蒼々たるメンバーの皆様と一緒に役ができるということで、大変楽しみに役員をお引き受けさせて頂きました。京都部の役員といたしましては、京都プリンスクラブの廣井ワイズが、21期の京都部長をされた時の書記としてお世話になって以来、4期ぶりの参加となります。前は初めての経験ばかりで、廣井元部長の足手まといにならないようにするだけで精いっぱいでした。しかし、今回は2度目の役員となりますので、何事にも積極的に参加して、少しでもお役に立ちたいと思っております。現在、世界中がコロナウィルスによる感染症で大変な危機に瀕しています。その中であって、何とか京都部を盛り上げていきたいと思っておりますので、皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。



会計 蒔田 茂夫 京都プリンスワイズメンズクラブ

この度、京都部第25期会計を拝命致しました京都プリンスワイズメンズクラブの蒔田茂夫と申します。4年前にクラブ会長をさせて頂いた期が自クラブより京都部長輩出の期と重なり、大変印象深い期になりました。またご縁ありまして今期、中村部長のもと会計を務めさせて頂くことに心より感謝し喜びを感じております。しかしながらまだまだ経験不足の若輩者でありますので多々至らないことばかりではありますが、精一杯務めさせて頂きますのでみなさま1年間どうぞ宜しくお願い致します。



事務局長 西村 和真 京都洛中ワイズメンズクラブ

今期事務局長を務めさせていただきます、京都洛中クラブの西村です。コロナウィルスの感染拡大の影響により、会長・主査研修会が中止になり、また、部の役員会、評議会がwebでの開催とせざるをえない状況のなか、お会いできなくても、皆様との交流を充実させ、京都部役員、そして各クラブ会長の皆様と有意義な一年間にしたいと思っております。例年に比べますと、メールのやりとりも増えると思いますが、ワイズメンとしての「新しい様式」を考える良い機会をあたえてもらっていると、考え方を切り替え、楽しい一年としたいと思っております。一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。



事業主査

主題

YMCAへの支援が喜びとなる日

YMCA サービス・ユース事業主査

幡南 進

京都キャピタルワイズメンズクラブ



「まずは参加 !!」中村部長よりYMCAサービスユース事業主査の拜命を受け心に決めた目標があります。

ワイズメンがサポートできるYMCA事業に全て参加する。

そのためには1年間の日曜日の予定を全て開ける。全てのお手伝いが出来るかどうかはわかりませんが、今まで参加したことのない事業に少しでも取り組んでいけたら。またその取り組みが自分自身への喜びとなれるようにしていきたいと考えています。諸先輩方がいらっしゃる中で、わからない事ばかりご指導を頂くことも多いかと思いますが、温かく見守っていただけたら幸いです。また、そんな私の話や姿を見ていただき、ワイズメンの皆様が少しでもYMCAの事業にかかわっていただける回数が増える。また参加したことのない方が、少しの時間でも参加してみる。そうする事でYMCAの活動に触れ、ワイズメンでいることの幸せに触れることができる。この様な1年間したいと考えています。触れ合うことに対しては、慎重な昨今となりましたが、出来る範囲で構いませんので、是非一緒に参加しましょう。

主題

古き力を礎に若き力を！

EMC 事業主査

坂口 祐司

京都 ZERO ワイズメンズクラブ



今期 EMC 事業主査を仰せつかりました、京都 ZERO クラブの坂口 祐司でございます。

世の中がコロナウィルスの猛威により、クラブ活動・ワイズ活動自体がままならない状況下ではあると思います。

私自身こういった時だからこそ、ワイズメンズクラブに所属していて良かったと感じてもらえるチャンスだと捉え、クラブ所属による成功例を造り上げる時だと考えております。

今まで様々な苦境を乗り越えて成功を収めてきた先輩ワイズメンが、今を乗り越えようとしている若い世代に助言や経験を伝える事により、少しでも前向きな POWER が生まれたら、それだけでワイズメンズクラブに所属している意義を感じてもらえると信じています。

以下の文は、コロナ前に考えた私の抱負です。「各クラブ様々なCOLLARがあり、様々なPOWERがあります。

主題

地域奉仕・環境事業から “今”出来る事をひとつひとつ

地域奉仕・環境事業主査

的場 幸生

京都トップスワイズメンズクラブ



コロナウィルスの感染拡大による国及び京都府京都市からの活動自粛要請に伴い、生活に様々な影響が出ております。地域奉仕・環境事業においても色々な活動の制限がなされると思いますが、奉仕クラブであるワイズメンズクラブとして各クラブが“今”出来る地域奉仕活動・環境支援活動を試行錯誤し、提案、サポートしていきたいと思っております。また、支援活動に伴うCS資金の積極的な申請の呼びかけも行っていきたいと思っております。

どうぞワイズメンの皆さん、1年間ご協力よろしく願いいたします。

最初からワイズ活動に魅力を感じ入会するワイズメン、いつかワイズ活動をしたいという思いから入会するワイズメン、そしてワイズ活動をしている人達に魅力を感じ入会するワイズメン。入会理由は人それぞれです。ワイズメンの根本にあるワイズ活動。ワイズ活動がしたいからワイズメンになる。それが理想ではあるかもしれませんが、そのままではワイズメンの若返りは図れません。京都府下には様々な団体、青年団体がありますが、これからのワイズを支えていく若者が求めているもの、それは古き先輩方の教え・力です。青年団体では感じられない幅広い年齢層の仲間に入れるという事は、先輩から後輩への「伝承」という事も必要です。まず自分の身になり、力になり、成果が生まれる。その成果を恩返しするのがワイズ活動だと私は考えます。京都の若者を巻き込む為には古き先輩方の力の礎の下に若き力が集まります。一番大切な事は古き先輩方の意識改革、先輩方の魅力がメンバー増強に繋がり、クラブの躍進に繋がると私は訴えかけたいと思います。」この抱負を踏まえ、皆様が以前よりも力強く前に進んでいける事を心より願っております。

事業主査

主
題

交流はワイズの醍醐味！

国際・交流事業主査

牧野 万里子

京都ウエストワイズメンズクラブ



京都部25期、国際・交流事業主査を務めさせていただきます、京都ウエストクラブ牧野万里子と申します。今期の主題は『交流はワイズの醍醐味！』です。違う文化に触れたり、多種多様な考えを知ることで、人は豊かに成長していくのではないかと思います。交流は予想をはるかに超えるような素晴らしい出会いと感動を与えてくれます。活動計画としましては、まず皆さんに交流の醍醐味を味わっていただきたいという思いから、積極的に交流の機会のアナウンスを行い、また新しい交流の企画なども考えていきます。今期はコロナ禍の影響で国際大会、京都部会は中止となりましたが、交流の機会は無限大です。京都部各クラブ間との合同例会の開催、合同ワークまた、ZOOM等を活用しての、IBC・DBCの交流など、今だからできる交流を積極的に行うことで、今までにない新しい交流の形が生み出されるよう

な気がします。6月には西日本区大会が京都で開催されます。この時にはコロナが終息していることをお祈りしつつ、京都部全員で大会に参加して交流を満喫できることを楽しみにしております。皆様と一緒に交流の醍醐味を味わいながら、楽しい一年になればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

主
題

「和・輪・笑」

～和みを持って輪をつくり笑顔になりましょう！～

メネット事業主査

中村 典子

京都ウェルワイズメンズクラブ



今期メネット主査を務めます京都ウェルクラブの中村典子と申します。メネットでありメンでもある立場から一年間活動させて頂こうと思っております。色々な状況の変化の中、メネット事業の在り方も考えていかなければならない時期が来ている事も踏まえ、各クラブのメネットさん方のご意見をお聞きしながら共に考えさせて頂きたいと思っております。メネットさん方が参加される例会や集まりがございましたら是非とも参加させて頂きたいのでご連絡の方、宜しくお願い致します。一年間、メネットさん方と共に笑顔で楽しみながら頑張りたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

主
題

出会いから始まるワイズの輪。

楽しみを伝えよう！

PR委員長

近藤 敦无

京都東稜ワイズメンズクラブ



この度、PR委員長を務めさせていただきます京都東稜クラブの近藤敦无と申します。PR委員会は、部内の各クラブの優れた活動等を広く内外に広報することに努め、社会におけるワイズメンズクラブに対する理解と共感を得ながら認知度・好感度を高めることを目的としています。部長主題『「人生は一度きり」～出会いから全てが始まる～』ワイズメンズクラブの活動は、出会いにより始まり、出会いにより楽しみが倍増します。クラブの垣根を越えて、交流を楽しんでいただくためにどんなお手伝いが出来るのか？しっかりと考え、実行したいと考えます。昨今、政府の緊急事態宣言等で活動の自粛を余儀なくされております。そこで活躍しているのがWeb会議、集まれなくても仲間の顔が見たい！楽しい交流をしたい！各クラブで様々な形態で活動をされている事と思います。そんな、工夫とアイデアを是非、共有できたらと考えます。ITツールを駆使して、情報発信のお手伝い、楽しい交流のお手伝いをさせてください。どうぞ皆様、今期一年間、よろしくお願いいたします。

各クラブ会長



主題

『未来に繋がる形作りを』

京都ワイズメンズクラブ
会長 坂口 大輔

今期、京都ワイズメンズクラブの会長をさせていただくことになりました坂口大輔と申します。入会してまだ3年目で、会長という大役をさせていただくことになって、大きな不安と戸惑いをおかけしておりますが、京都部、クラブ会員やその他関係者のお力添えをいただき、1年間この大役を成し遂げられるよう頑張っております。

今期の活動目標は、来たる75周年事業に向けて、クラブメンバー一丸となって参加できる事業を計画、準備します。具体的には、今期の会長方針である「未来に繋がる形作りを」にもありますように、ベテランメンバーから若手メンバーへ、ワイズ活動の

良さ、すばらしさがうまく継承できるようクラブ内の雰囲気づくりや参加しやすい環境を作っていきたいと考えております。そのためには、E M C特別例会などを開催し、ゲストが参加しやすいアットホームな例会づくりや、他クラブとの合同例会を通じて、他クラブの良さを京都クラブに取り入れられるような活動を行っていきます。また、Yサ事業であるリトセンワークや三条保育園支援等に子供たちが安心して楽しめるように積極的フォローしていきたいと考えております。

前期、若い新メンバーが2名加わり、我がクラブは幅広い年齢層のメンバーがいます。各メンバーの力を最大限に活かせるように、お互いにフォローしあい、活気あるクラブづくりを目指します。



主題

『誇れる未来創り』
”Pride of creating the future”

副題

『楽しみ』をつくろう

京都パレスワイズメンズクラブ
会長 吉岡 幸次

今期私達パレスクラブはクラブ誕生から半世紀となる50年を迎えました。私が50期会長をさせて頂く事で思うことは、今までの歴史を再認識し、称え反映しメンバー全員で”今”からの挑戦に結び付け実行していこうと考えております。パレスクラブは歴史も長くメンバー数も多く、ワイズメンズクラブではかなりの存在感、発言力のあるクラブであることを自覚し、模範となるようなクラブ運営を目指します。会長主題で挙げております「誇れる未来創り」ですが、今現在パレスクラブに50年の歴史があるようにこれからも日々の積み重ねによって歴史が刻まれていきます。これからのクラブ活動を今だけを考えて作るのではなく、5年後10年後を見据えて計画しさらに進化し

続ける。その活動が自クラブだけではなく少しでも周りに影響をもたらすような未来を想像し創っていきたい思いを込めております。YMCAが行っている活動においても全メンバーがもっと理解し協力していけるよう努めていく所存です。副題の「楽しみ」をつくろうに関しましてはそのままの通りですが、新しい企画や活動・目標を作ることにより、その過程でも楽しみが増えると考えております。また、クラブ活動だけでなく仕事や家庭でも共有できる楽しみが増やせたらより良いと思っております。今までの活動これからの活動、全ての活動を今一度見直し、問題がある活動には今までとは違う方法でと変化をつけていきたいと思っております。その為には各役員、委員会に多大な協力が必要となりますが、新しいことを提案し実行する、こういった事がクラブ活動の醍醐味だと思っておりますので是非とも新しいメンバーや関わりの弱いメンバーに経験し実感していただきもっとやりがいのある楽しいクラブへ発展していきたいと思っております。新型コロナウイルスの影響により様々な問題に直面しておりますが、クラブとして何を第一に考えるのかをしっかりと判断し乗り越え、50年という節目の年を新しく変えていく「変化」ばかり考えずに歴史や活動を未来に「つなげる」事に重きを置いて取り組みたいと思っております。



主題

万能一心

副題

try one's best
(最善を尽くす)

京都ウエストワイズメンズクラブ
会長 佐治 幹生

この度、京都ウエストクラブ第41期の会長をさせていただきます佐治です。皆様、宜しくお願ひ申し上げます。また、先だっては、京都部、部会時は実行委員長もさせて頂き、その節は、各クラブ会長様はじめメンバーの皆様ご協力ありがとうございました。

さて、今期クラブ会長をさせて頂くにあたり、自分にとってワイズメンとして出来る事を精一杯務めさせていただきます。

会長主題は、『万能一心』～try one's best(最善を尽くす)～とさせて頂きました。これは、主題というか、自分自身の課題として考えさせて頂きました。

会長としてクラブメンバーの事を想い、最善を尽くし真心を持って取り組み接する事で、各メンバーにも想いが伝わりクラブとして、一回りも二回りも大きくなると確信しています。

会長をさせて頂くにあたり、自身のチャレンジでもありドキドキですが、ウエストクラブは、会長経験者も多くベテランも多数おられますので、不安はありません。

クラブでは、40周年という区切りもあり、今までの経験を活かし41期だからこそ出来る事新たなチャレンジに取り組み、ウエストクラブの飛躍に、微力ながらも、協力して行く所存で御座いますので、1年間、宜しくお願ひ致します。

各クラブ会長



主題 Everyday is a Challenge!

副題 ～やれるだけ、やりきる！～

京都めいぷるワイズメンズクラブ
会長 藤井 功輔

京都めいぷるクラブ第38期会長を務めさせていただきます、藤井功輔と申します。

新型コロナウイルスの影響により、大きな変革を迎えることになった本年に会長をさせて頂くということは、自分にとって非常に意義のあることで、同時に貴重な経験になると予感しております。会長担当期を迎えるにあたりまして、まずは現状を悲観することなく、前向きな姿勢で全ての事と向き合い、可能な限りポジティブに取り組んでいきたいと考えております。

最も重要だと考えていることは、クラブメンバー間での親交をさらに深めるということです。メンバー同士の結束をより強く

固められるよう、お互いが協力し合って活動できるようなクラブづくりを目指しております。同時にYMCAへの支援活動や地域奉仕事業、また他クラブ様との交流を積極的に行い、みんなでよくなっていける環境づくりに取り組めるよう、力を尽くします。また、40周年記念事業を見据えたファンド事業の強化も行っていきたいと考えております。そのためには他クラブ様との連携も重要になってくると思っておりますので、クラブ間でも相互協力し合えるよう努力して参りたいと思います。

2020年冒頭より、大変困難な状況からのスタートになっておりますが、自分自身ができることを最大限努力して行い、明るい未来を切り拓いていけるよう、1年間頑張っていきたいと思っておりますので、今後とも、どうぞよろしくお願い致します！



主題 ～伝えよう感謝 喜び
そして 悲しみも～

京都キャピタルワイズメンズクラブ
会長 五十嵐 由紀

皆様こんにちは。キャピタルワイズメンズクラブ会長の五十嵐由紀と申します。仕事は双子の妹と2人で「西陣織の織物設計」をしております。1年間どうぞ宜しくお願い致します。

入会してから10年が経ちましたが、改めて“長い時間を共にする仲間とは、人生において楽しい時期も辛い時期も理解し合い寄り添い合いたい”と感じています。そんな願いを込め今期の主題を「伝えよう感謝 喜び そして 悲しみも」と掲げさせていただきました。

また次期の準備段階では、今日のキャピタルクラブを創ってくださった先輩方に“感謝”を、そしてこれからを創る後進のメ

ンバーに“期待”を込めて「運営マニュアル」を作成しました。これは仕事や家族との時間を大切にしながら多くの事業を行う上で、規約をはじめとした基本的な活動（献金の流れ・各種事業のタイムスケジュールなど）を期首に明確にし、期末にはブラッシュアップできるように考えたもので、今年の1月から三役一丸となってまとめました。

7月になればいよいよ次期がスタートします。コロナの影響もありどのような期になるか不透明ではありますが、7月になればコロナの影響は落ち着く前提“で準備をし「刻々と変化する情勢に臨機応変に対応しながら交流を絶やさず、この時期だからこそできることにチャレンジする」のが自分の役目と捉え前向きに進んでいこうと思っています。



主題 より強い絆で

副題 ～仲間って本当に
いいものですね～

京都プリンスワイズメンズクラブ
会長 澤田 哲平

京都プリンスワイズメンズクラブ第35代会長を拝命しました澤田哲平です。どうぞよろしくお願い致します。

今期の会長主題はとてもシンプルに、「より強い絆で」といたしました。元々主題には異なるものを考えていましたが、今年始めより世界中を襲ったウイルスによって、例会や事業など様々な制限を受けたことをきっかけに、改めてクラブの絆をより深く強固に、そしてメンバーの思いを一つにして難局を乗り越えていきたいという気持ちを会長主題に込めました。そして仲間の存在が心強く、心温まる場所であること、副題の「仲間っていいものですね」と感じる1年にしていきたいと強く願っています。

またプリンスクラブでは次期に35周年を控えています。たくさんの方のゲストに参加いただける周年事業の準備を行うための大切な1年です。クラブメンバーが一つになり、目標へ突き進んでいきたいと考えています。1年間、どうぞよろしくお願い致します。

各クラブ会長



主題

Let's have fun!

副題

楽しかったと思えるクラブ運営を！

京都センチュリーワイズメンズクラブ

会長 山崎 育男

京都センチュリークラブ創立33年を迎え、33代目の会長を拝命致しました。また自身会長職は3度目となります。振り返りますと入会5年目で初めて会長職を経験しました。当時のメンバー数は23名で、過去4年間例会に出席していましたが、役員会の出席は少なかったと記憶しています。会長になり役員会へ毎月出席した事により、クラブ運営について徐々に理解出来るようになりました。私が初めて会長の年にセンチュリークラブにとって最大のIBCイベント、韓国クラブへの訪問を計画する事になりました。クラブメンバー家族と一緒に韓国へ訪問交流親睦旅行を実施しました。この時の計画～実施までの思い出が今

でも大変楽しかった記憶として残っています。

現在は韓国メンバーが減り、クラブ消滅によりIBC交流は残念ながら出来ておりません。今年度IBCを何とかと行いたいと思っています。しかしながら、我がクラブメンバー数が少ない、平均年齢も京都部で最も高い事から、まずEMCを積極的に実施する事が最初の目標と思っています。

現在コロナの影響から、クラブメンバーとのコミュニケーションは有りますが、実行面で休止状態です。開催後は積極的に行いたいと思っています。やはりクラブメンバーが楽しいと思えるクラブ、そして自身もクラブが楽しいと思えるようなクラブを作って行きたいと思っています。メンバーのお力添え、また、他クラブのご協力も借りながら、楽しいクラブ作りに努力してまいります。



主題

みんなが会長

副題

奉仕クラブは誰のため

京都ウイングワイズメンズクラブ

会長 天根 静也

初めまして京都ウイングワイズメンズクラブの天根静也と申します。入会時は京都在住だったのですが、現在は奈良県の宇陀市という田舎に住んでいます。京都までは片道2時間かかります。2時間の例会に往復4時間かけて参加しています。引越す時に辞めなかった理由はやはりこのウイングクラブとその仲間に離れがたい魅力があったからでした。そんなクラブの会長を今年は仰せつかることになりました。すぐに「はい」と返事をしなかった僕に選考委員会の歴代会長がこれまた2時間かけて奈良まで会いに来てくれました。僕より相応しいのにまだ会長になっていない先輩がいるのに僕が会長になっていいのだから？

遠いところに住みながらちゃんと会長として然るべき役割が果たせるのだろうか？そんな想いは片隅に抱きながらも「僕らに任せて」という心強い仲間の声に押されて引き受けることにしました。そして次期の準備が始まりつつある最中に起きたのがこのコロナウイルスの感染拡大です。会議は対面ではなくオンラインになりました。自分から会議をオンラインにしましょうとは言い出しにくかったのですが、そんな状況が向こうからやってきました。こんな状況だからこそ自分にお役が回ってきたのではないかと。そう考えると本当に誰かが天から采配を振るっているのではないかと疑ってしまうほどです。この時期に自分だからこそできることを精一杯頑張りたいと思います。よろしくをお願いします。



主題

この身を捧げ尽くさん

副題

～共に奉仕する喜び～

京都洛中ワイズメンズクラブ

会長 山内 和生

まずは、京都部各クラブの皆様や、共に歩み支えて下さるYMCAのスタッフ、そしてワイズメンズクラブにご理解頂き色々な形で協力の手を差し伸べて下さる地域の皆様に感謝です。我が洛中クラブは、本年度クラブ設立32年を迎えました。その歴史の中では本当に多くの事業があり、多くの人たちとの出会いもありました。32年という歳月に我々がクラブ活動としてきた事業は、すべて有意義なものであったと思います。

しかし、現在メンバー数の減少からその事業も縮小することがふえてきました。やはりメンバー増強がなにより大切と痛感しています。クラブメンバーだけの活動ではなく、我々をサポート

トしてくれる仲間を広く呼びかけたいと思います。

そして、児童養護施設つばさ園の子供達、職員先生方ともいっしょになって奉仕活動をおこなっていききたいと思います。

子供達に、「社会の役に立っている！」と感じる経験をしてもらいたいです。それが、共に奉仕する(はたらく)喜びです。

第33期の会長として、三度目の会長就任ですが、二度の経験を糧にした実りある一年になるよう努力してまいります。

各クラブ会長



主
題

楽しもう！奉仕の繋がり

副
題

義

(人の行いが道徳・倫理にかなっていること)

京都エイブルワイズメンズクラブ

会長 山根 拓也

コロナウイルス感染を防ぎ、終息させる為の活動を行う。
若いメンバーを登用して、先輩メンバーをサブ役員として活性化とコミュニケーションを図り、今まで以上の活動行いたいと思っております。そして、少数メンバーのクラブ様と出来るだけ合同で例会を行いお互いにメンバー増強を図り京都部全体を盛り上げていきたいと考えています。

又、我がクラブと同じく京都府下のクラブで京都北フロンティアクラブとの交流を重ねていきたいと考えております。



主
題

友と共にチャレンジしよう！

副
題

Smiling forever

～ずっと笑顔で～

京都グローバルワイズメンズクラブ

会長 島倉 泰三

京都グローバルワイズメンズクラブは、多くのメンバー数を誇る日本国内でも有数のクラブです。

私はこの現状に満足することなく

【めざせ！メンバー数100名】を合言葉に、2年後の30周年が素晴らしい節目の年となるよう導きたいです。そのためにも、まずは奉仕活動に積極的に参加し「しんどいけど楽しいねえ！また来年も奉仕したいねえ！」と友と共に汗を流して楽しみたいです。

“数は力なり”この原則により友達が増え、社会奉仕の活動は益々充実し『社会の為に未来の為に』より大きな役割を果たせ

る魅力的なクラブになるでしょう。

私たちの活動にゴールはありません。メンバー一人一人が主役となり更なる高みを目指せるようクラブ運営に努めたいです。



主
題

崖プチ

副
題

悪あがき

京都みやびワイズメンズクラブ

会長 奥谷 彰宏

頑なにお断りしてきた私が28期目の会長を仰せつかり、やはりクラブも末になってきました(汗)。

ここ数年は5名前後のメンバーで年間事業を卒なくこなし、決して楽しくクラブ活動をしているメンバーは居ないのではないかと見受けられます(あくまでも僕の主観です)。

よって無理せずまずは既存メンバーが楽しむクラブ活動をして行きたいと思っております、メンバー自体が楽しんでいないのに、メンバー増強もないと思います。

会計貯蓄をすべて使用する勢いでいつも大変お世話になっているメネットさんも含め、6人となったメンバーが楽しむクラブ

にみんなで治して行ければと思います。

各クラブ会長



主
題

心即太陽

副
題

熱い心で、リーダーシップを
発輝しよう。

京都トップスワイズメンズクラブ

会長 清水 寿和

熱い心で、リーダーシップを発輝しよう。

次期理事輩出クラブとして、対外的には西日本区大会アピールの発信準備や他クラブに協力の要請を中心に行い、クラブ内に於いてはクラブメンバー同士の結束力を高めて行きます。メンバー一人一人が心のこもったリーダーシップを発揮し、次年度新山理事期へスムーズに移行出来る体制作りを行います。

上期においては、親睦例会を実施しメンバーの結束を固め新メンバー増強の為の納涼例会や100人ゲストスピーカー例会を実施します。下期では次年度に向けた次期理事輩出決起例会やメンバースピーチ例会を実施します。

例会や委員会、各事業活動の参加率も高めて行きたい。



主
題

Let's TRY

副
題

～基本を忘れず、
いろんな事に挑戦しよう～

京都トゥービーワイズメンズクラブ

会長 馬場 昭宏

私が担当する今期は、このクラブに入ったからこそ「出来た」や「やってよかった」と思えるようなクラブにしていきたいと考えています。そして、クラブで体験したことを普段の仕事に活かせるように活動して行ってほしいと考えます。また、ひとつひとつの活動がクラブ全体を良くしていくと思います。会長主題にしています、「Let's TRY」にはそんな思いが詰まっています。また、今期は当クラブより西日本区理事を輩出しております。理事輩出クラブとして恥の無いように精一杯クラブ運営していきたいと思っています。そして、2021年6月には、京都での西日本区大会も開催予定です。

盛大に盛り上げていきたいと考えていますので、皆様のご参加をメンバー一同心待ちにしております。



主
題

ソスフル パーソン
「a thoughtful person」

副
題

思いやりの心で楽しむ活動を

京都東稜ワイズメンズクラブ

会長 刀根 健志

現在メンバー15名でのスタートとなります。

第17期である今期は3年後の20周年を視野に入れながらの活動となります。

東稜クラブ16年間の歴史を振り返り、メンバー全員が自クラブの認識を深め、メンバー同士の絆を深め、今後の活動に対する意識を高める期に出来るよう、取り組んで行きたいと思っています。

活動の主でもある毎月の「クリーン例会」や「祇園祭クリーン例会」「四ノ宮祭りクリーン例会」を充実させ、多くのゲスト参加により「クリーン活動の面白さ」を広め、やりがいのある活動を広

めていきたいと思っています。

メンバー全員(ベテランから若手)が意見や思いを、気遣いなく言い合えて、お互いを思いやりの心を持って楽しめる活動を目指していきたいと思っています。結果、自然とメンバー3名増強に繋がって行ければ良いと思います。

各クラブ会長



主題

自他共栄

副題

～心と心でふれ会おう！～

京都ウェルワイズメンズクラブ

会長 中村 典子

今期、ウェルクラブ第17代会長を拝命致しました中村典子です。新型コロナウイルスに対してまだまだ予断を許さない日々が続いて行くであろう期の会長を受けるにあたり、会長主題を『自他共栄』、副題を～心と心でふれ会おう！～とさせて頂きました。言葉の意味としましては、「相手に対し、敬い、感謝をする事で、信頼し合い、助け合う心を育み、自分だけでなく他人と共に栄えあえる世の中にしようとする事。」です。ワイズメン同士の挨拶である握手をするのもままならない中、いかにして心と心でふれ合い、つながっていくかを考える一年にしたいと思っております。

例年通りの会合が中々開催出来ない中、メールやラインでのやり取りが多くなり、顔を見て話せば解る細かい内容も、文章だけでは誤解を生んだり冷たくきつい印象になってしまう事もあると思います。

そんな時に分かり会える事の難しさを感じます。

色々と不安な事がつのる毎日の中に在っても、メンバーとの交流を持つ時間は、楽しく、笑顔の溢れるものにしたいと考えます。

この一年間、どのような活動が出来るか先はまだまだ読めませんが、【楽しくなければウェルじゃない!!】をモットーに頑張りますので、皆様どうぞ協力の方、宜しくお願い致します。



主題

「人」

京都 ZERO ワイズメンズクラブ

会長 山田 維久仁

今期京都ZEROワイズメンズクラブは10周年という一つの大きな節目を迎えます。前期、この10周年に向けてメンバー数が過去最高の30人を超えました。20代、30代も多く幅広い年代の魅力のあるメンバーが揃っております。私がワイズメンズクラブに在籍していて一番強く感じることは「人」の温かみです。クラブ内にあっては例会や事業を通して、若いメンバーにはパワーや新たな発想を与えられますし、年上のメンバーには経験や人生設計、また、クラブ外においても京都部を始め西日本区の多くのメンバーに分け隔てのない交流で他

では築けない人間関係を築かせて頂いております。

経営資源の「人・物・金」の私の好きな解釈は「人を残して一流、物を残して二流、金を残して三流」です。やはり「人」が一番大切であり、人間関係や「人」に喜んでいただくことを喜びとする環境が大切だと思います。

今期会長を務させて頂くにあたり、会長>三役>委員長>メンバーという会長が頂点に立つピラミッドのような構図ではなく、メンバーを主体として、メンバーを委員長が支え、委員長を三役が支え、役員を含めたメンバー全員を会長が支えられるような逆三角形のような組織作りが出来ればと考えております。メンバー一人一人が主体となり、そこにクラブメンバー全員が関わることで、例会や事業一つ一つの楽しさや喜びが増していければと思います。

冒頭にも述べさせて頂いた通り、我がクラブは10周年を迎えます。コロナウイルスによる混乱の中にあっても、「人」という何にも代えられない武器で最高に楽しい一年をおくれるようにしていきたいと思います。一年間どうぞ宜しくお願い致します。



主題

Begin Again

副題

今できることを一つずつ

北京都フロンティアワイズメンズクラブ

会長 足立 徳仁

舞鶴の地で北京都フロンティアクラブが設立され5年を迎えることとなりました。年々新しいメンバーを迎え活動の幅を広げて参りましたが、今、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、新しい生活様式が求められる中、今までと全く違う時代が始まろうとしています。今一度我々の活動を見つめなおし、当クラブの名前にもある、フロンティアスピリットを胸に、困難な時代に負けない、新しい活動を見出す一年にして参ります。地域社会への奉仕活動、Y M C Aへの協力、そして何よりメンバー間の繋がりを一番大切に、クラブの更なる飛躍につながる一年にして参ります。

Begin Again～今できることを一つずつ～

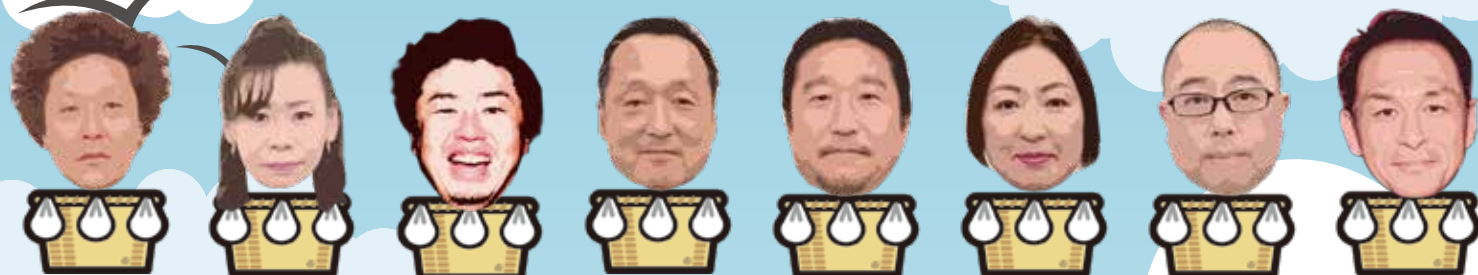
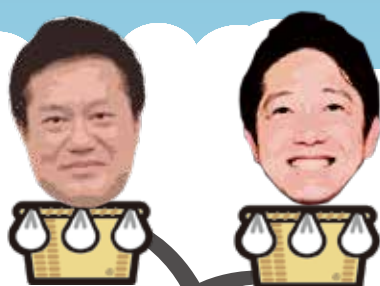
5年間の活動を基盤に、今一度力強く活動してまいります。



ワイズメンズクラブ 国際協会 西日本区

第25期 京都部

「人生は一度きり」
～出会いから全てが始まる～



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
JAPAN WEST